

タイトル	シンポジウム 2011年度北海学園大学市民公開講座「 コンテンツ・ビジネスの変容：工場から工房へ」 概要
著者	
引用	北海学園大学学園論集(152): 199-199
発行日	2012-06-25

2011年度 北海学園大学市民公開講座 コンテンツ・ビジネスの変容—工場から工房へ—

講座概要（講座パンフレットより抜粋）

21世紀、情報化によってビジネスが目まぐるしく変化しています。インターネットではデジタル情報そのものがビジネスの対象となっています。また、数年前、一国の首相がマンガ・アニメを一大政策に掲げるほど、我が国で作られるアニメ・マンガといった作品は世界で注目を集めています。これら作品もデジタル情報から産み出されたものです。

マンガ・アニメ・映画・フィギュア・ライトノベル・ゲームなどの作品を産み出す産業をコンテンツ産業と呼びます。コンテンツ産業での製品は

創造→制作→流通→小売・消費

といった過程で作られ、創造→制作という過程で他の産業とは一線を画します。

そこで、本市民講座ではコンテンツ産業に注目し、コンテンツ産業の特徴と可能性について議論します。この講座より、コンテンツ産業が21世紀の経営のあり方を変えうることを伝えたいと思います。

一方で、作品そのものが魅力的でなくてはなりません。ストーリー、作品のコンセプト、この完成度も求められます。その意味でも、「創造」も重要になります。そこで、今回はアートの分野の先生方のお話をいただき、作品そのものを考える機会も用意いたしました。

最後に、コンテンツ産業は多数なスタッフによる作業の集積体でもあります。最終日にはパネルディスカッションによって、本講座を完成させます。本講座もアートと経営のスタッフによるコラボレーションをお見せできればと思います。

プログラム ※タイトルは2011年度市民公開講座当時の名称

2011年10月8日（土） 14時00分～17時00分

開会式・挨拶

学長 木村 和範

講演1

ファンあつてのコンテンツ産業？
—インターネット上で見せるアニメ
の広がり—

経営学部 関 哲人

講演2

ハリー・ポッターとは何か

経済学部 三浦 京子

講演3

現代美術作品の価値

工学部 原井 憲二

2011年10月9日（日） 9時30分～13時00分

講演4

現代日本映画とコンテンツ

人文学部 大石 和久

講演5

コンテンツ・ビジネスの衝撃

経営学部 澤野 雅彦

パネルディスカッション

企画 澤野 雅彦

司会 関 哲人

会場：北海学園大学豊平キャンパス7号館3階D30番教室